

科目名	情報と職業						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照				
開講期	秋学期	開講学部等	理学部	配当年次	2 年次	単位数	2 単位
教員名	勝股 審也						

授業概要／Course outline

昨今の情報通信技術の進化は目覚ましく、AI・IoT・5Gなど、次々と新たな技術が登場している。日本政府はこれらの技術を基盤とした未来社会のコンセプト「Society5.0」を提唱し、情報通信技術を用いて社会課題を解決することや、新たな価値の創造を目指している。また、企業においては、情報通信技術を基盤としたビジネスモデルの変革（デジタルトランスフォーメーション）の必要性が叫ばれており、IT企業はもちろん、その他の企業においても情報通信技術が必須となっている。

本講義は「情報」の教員免許取得のために必要となる科目である。講義では上記の話題に関連して、「企業の情報化とそこで働く人々」や「情報通信関連の企業で働く技術者」についての話題を取り上げる。教員を目指す受講者の多くは、今後企業で働くことはないかもしれないが、これらの話題を知っておくことは、実際に情報科目を担当する際に有益である。よって、講義内容を理解するだけでなく、その内容を高校生に説明できるようになることを目標とする。また、昨今取り沙汰されている社会問題（貧困、少子高齢化、長時間労働など）には、企業活動が少なからず関係しているため、企業に関わる政治・経済・国際関係の問題も講義で取り上げる。受講者は日頃から新聞・ニュースなどに目を通し、理解と関心をもってこの講義に臨んでもらいたい。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））
- 90分相当のオンデマンド授業を1回行う。

授業内容・授業計画／Course description・plan

各回の講義では、下記の内容を扱う予定である。

第1回：講義の概要、Society5.0

第2回：ビジネス環境の変化

第3回：新しい時代の企業と人事制度

第4回：日本における労働問題と働き方改革

第5回：職業と格差

第6回：職業とジェンダー

第7回：企業活動とその社会的責任

第8回～第9回：情報化が産業に与える影響

第10回～第11回：情報産業における職業

第12回～第13回：企業機密と情報セキュリティ

第14回：情報通信産業を取り巻く新たな展開

★オンデマンド（90分、1月中に配布予定）これまでの授業のまとめ

事前・事後学修／Preparation and assignments

講義スライドをmoodleにアップするので、事前にダウンロード、もしくは印刷をして授業に臨むこと。スライドは、あくまでも補助的なものであり、受講生がこの資料によってノートを取る負担を軽減し、授業に集中することを目的としている。スライドに要点や自身の考えを書き加えていくことにより、理解を深めていくことを推奨する。また、このスライドを使用して、下記のように「事前学習」と「事後学習」を行うこと。

第1回：講義の概要、Society5.0

【事前学習】講義スライドをmoodleからダウンロードまたは印刷し、概要を把握しておくこと。

【事後学習】講義の要点や自身の考えを見直して、内容を整理すること。関連する書籍・Webページを調べることで理解を深めること。

第2回：ビジネス環境の変化

【事前学習】講義スライドをmoodleからダウンロードまたは印刷し、概要を把握しておくこと。

【事後学習】講義の要点や自身の考えを見直して、内容を整理すること。関連する書籍・Webページを調べることで理解を深めること。

第3回：新しい時代の企業と人事制度

【事前学習】講義スライドをmoodleからダウンロードまたは印刷し、概要を把握しておくこと。

〔事後学習〕講義の要点や自身の考えを見直して、内容を整理すること。関連する書籍・Webページを調べることにより理解を深めること。

第4回：日本における労働問題と働き方改革

〔事前学習〕講義スライドをmoodleからダウンロードまたは印刷し、概要を把握しておくこと。

〔事後学習〕講義の要点や自身の考えを見直して、内容を整理すること。関連する書籍・Webページを調べることにより理解を深めること。

第5回：職業と格差

〔事前学習〕講義スライドをmoodleからダウンロードまたは印刷し、概要を把握しておくこと。

〔事後学習〕講義の要点や自身の考えを見直して、内容を整理すること。関連する書籍・Webページを調べることにより理解を深めること。

第6回：職業とジェンダー

〔事前学習〕講義スライドをmoodleからダウンロードまたは印刷し、概要を把握しておくこと。

〔事後学習〕講義の要点や自身の考えを見直して、内容を整理すること。関連する書籍・Webページを調べることにより理解を深めること。

第7回：企業活動とその社会的責任

〔事前学習〕講義スライドをmoodleからダウンロードまたは印刷し、概要を把握しておくこと。

〔事後学習〕講義の要点や自身の考えを見直して、内容を整理すること。関連する書籍・Webページを調べることにより理解を深めること。

第8回～第9回：情報化が産業に与える影響

〔事前学習〕講義スライドをmoodleからダウンロードまたは印刷し、概要を把握しておくこと。

〔事後学習〕講義の要点や自身の考えを見直して、内容を整理すること。関連する書籍・Webページを調べることにより理解を深めること。

第10回～第11回：情報産業における職業

〔事前学習〕講義スライドをmoodleからダウンロードまたは印刷し、概要を把握しておくこと。

〔事後学習〕講義の要点や自身の考えを見直して、内容を整理すること。関連する書籍・Webページを調べることにより理解を深めること。

第12回～第13回：企業機密と情報セキュリティ

〔事前学習〕講義スライドをmoodleからダウンロードまたは印刷し、概要を把握しておくこと。

〔事後学習〕講義の要点や自身の考えを見直して、内容を整理すること。関連する書籍・Webページを調べることにより理解を深めること。

第14回：情報通信産業を取り巻く新たな展開

〔事前学習〕講義スライドをmoodleからダウンロードまたは印刷し、概要を把握しておくこと。

〔事後学習〕講義の要点や自身の考えを見直して、内容を整理すること。関連する書籍・Webページを調べることにより理解を深めること。

オンデマンド：講義のまとめ

〔事前学習〕これまでの講義スライドをmoodleからダウンロードまたは印刷し、概要を把握しておくこと。

〔事後学習〕講義ビデオをよく復習すること。

※各対面授業に対する事前・事後学修は約180分を目安とし、オンデマンド授業1回に対する事前・事後学修は各回約90分を目安とする。事前・事後学修は合計で約2,700分とする。上記内容を確認して、しっかりと事前・事後学修を行うこと。

授業の到達目標／Expected outcome

- ・国際化・情報化が急速に進む産業社会や企業の現状、労働者が置かれている状況の変化を説明できるようになること。
- ・「Society5.0」や「DX（デジタルトランスフォーメーション）」の基盤となる情報通信技術への理解を深めること。
- ・日本や世界の情勢に気を配り、その原因や影響について深く考える習慣を身に付けること。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- ・思考力
- ・幅広い教養
- ・倫理性

履修上の注意／Special notes, cautions

この講義は現代社会や日常生活と密接に関連する。そこで講義では、新聞やインターネットなどに掲載された現実の出来事も可能な限り多く取り上げる。受講者は新聞・インターネット上のニュースに注意深く目を通し、現実の出来事について関心を深め、講義内容との関連について考えながら講義に臨むこと。

評価方法／Evaluation

授業中に行う確認テストの内容により、総合的に評価する（100%）。

教 材／Text and materials

教科書：講義スライドをmoodleにアップする。

参考書：

- ・駒谷昇一、辰己丈夫 著「情報と職業」オーム社，2015年
 - ・豊田雄彦、加藤晃、鈴木和雄 著「情報と職業（改訂4版）」日本出版販売株式会社，2023年
 - ・北川源四郎 他「教養としてのデータサイエンス」講談社，2021年
 - ・日経BP社編集部 「日経テクノロジー展望2024 世界を変える100の技術」日経BP社，2023年
- ※その他の関連書籍に関しては、授業中に適宜紹介する。

質問や相談の方法／Instructor contact

オフィスアワー：月曜日12:15-13:15

連絡先：moodleに記載するメールアドレス

※授業に関する質問や相談がある場合は、上記時間に研究室を訪ねること。